

---

**理由はないけれど。**

紫紀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

理由はないけれど。

### 【Nコード】

N8223K

### 【作者名】

紫紀

### 【あらすじ】

すべてのことに疲れ果てて自殺を試みた少女は屋上からの飛び降り自殺を試みる。が、そこで不思議な少年と出会って・・・

「ねえ、何してるの？」

道路を走る車の騒音。わずかな風の音。近くの木にとまっている小鳥の鳴き声。

そんな音しかしてなかった。それにここには今私しかいないはずなのに。

背後から声が聞こえた。すごく透き通った綺麗な声だった。

だけどいくら綺麗な声だって人が決意を固めたって時に話しかけられたら。

無視、でしょ。

私は声の主のほうを振り返らず、手すりに手をかけた。

「死ぬの？」

そんな問いかけに。

「だったら何？貴方には関係ないでしょ？」

思わず答えてしまった。凶星をつかれて正直、少しムカついたから。それにここは屋上。しかも平日の10時30分調度。要するに授業中。

おそらく私の学校の生徒しかあり得ないはずだから、授業サボってるってことだね。

「うん、関係ないよ。でも興味があるんだ。どうして自殺なんかするの？」

「・・・別に大した理由なんてない。疲れた。逃げたい。それだけ。」

「何に疲れたの？何から逃げるの？」

「・・・わかんない。」

「分からないのに死ぬの？」

その質問に思わず止まった。

私は何に疲れたのだろうか。何から逃げるのだろうか。クラスメイトからのいじめ？・・・違う。なんなのかな。

「分からないけど、生きていたくないの。生きることには価値を感じないの。」

「だから死ぬの？」

「・・・うん。」

なんだか急に声の主の顔が気になりだして、後ろを振り向いた。そして再び動きが止まった。

すごく美人な少年だった。

男の人に対して美人っておかしいかもしれないけれど。

綺麗な目。整った顔立ち。私より少し高い身長。学校の制服。

「あのさ、貴方、誰？・・・ていうか何しにここに来たの？今授業中だよ。」

「僕？僕は2年6組、藤原静。何しに来たか知りたい？」

「知りたいから聞いたの。」

「君に、会いに。」

私より1つ後輩の彼は、微笑みながらそう言った。

「……どういうこと？悪いけど、私はあなたのこと知らない。」

「貴方じゃなくて、名前があるんだから名前で呼んでよ。」

「……私は静のことを知らない。」

「でも僕は君を知ってる。」

会話が噛み合っていない気がするのには気のせい？

そもそも私は飛び降りるためにわざわざ屋上まで来たはずなのに。

そんなことすっかり忘れてしまった。

「君はこれからの時間を捨てようとしてるんでしょ？」

「……そうだね。」

「じゃあ君のこれからの時間を僕に頂戴。捨てるくらいならくれてもいいんじゃない？」

「……そうだね。こんなものでよければあげる。」

「有り難う。」

私の時間なんかもらって何をする気なんだろうか。

そもそも私のことを知ってるって何でなんだろうか。

でも、理由はないけれど、なんだか気分がいい。

「僕がもらった君の時間を、楽しいものにしてあげる。」

彼はそう言って微笑んだ。

捨てたはずの残りの時に、思わず期待してしまう自分がいた。

「よろしくお願いします。」

私はそう言って頭を下げた。

## （後書き）

4作目です。紫紀です。

ごめんなさい、何がしたかったか自分でもわかんないです。  
何か不思議な感じの少年が書きたかっただけな気がします。

感想、評価是非よろしくお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8223k/>

---

理由はないけれど。

2011年10月9日22時02分発行